

Technical Farm 通信

12号(2015年9月25日)

今月のカメラ情報

SDカード収録もフフフですね!

Grab and Shoot

妥協なき高画質をその手の中に



XDCAMメモリーカムコーダー

PXW-FS5 (レンズ付属なし) NEW

PXW-FS5K (レンズ付属) NEW

2015年11月発売予定

PXW-FS5 68万円

PXM-FS5K 74万円

18-105mmレンズ*
付きで2.2kg。
軽い!

HD収録時に
センタースキャン機能もあり
S16のレンズ*も使いえちゃう
(別途、Mount必要)

XDCAM

XAVC AVCHD Progressive Exmor CMOS Sensor 4K

	PXW-FS5	PXW-FS7
センサー	スーパー 35mm 4K CMOS (総画素1160万)	
レンズマウント	Eマウント	
記録フォーマット	XAVC-L (4K/30pまで) / AVCHD	XAVC-I (4K/60p対応) / XAVC-L / MPEG2
記録メディア	SDカード (2スロット)	XQDカード (2スロット)
HFR内部記録	240p (8秒まで、エンドトリガーあり)	180p (制限時間なし)
ログ撮影	S-log2、3/5-Gamut対応 (ISO3200以上)	S-log2、3/5-Gamut対応 (ISO2000以上)
RAW出力	将来対応	○
質量(使用時)	0.83kg (2.2kg: 付属レンズ使用時)	2.0kg (4.5kg: 付属レンズ使用時)
キットレンズ	E PZ 18-105mm F4 G OSS	FE PZ 28-135mm F4 G OSS
本体価格	68万円	98万円

今回はSONYさん情報 大人気 FS7Sの弟分発表。

4K(3840x2160)30Pが内部収録できて
HDではなんと240fps、
画質ダウンで最高960fpsまでOK。
コストパフォーマンス良好ですね。
CanonさんのC100カメラの対抗馬かな!?
こりゃーMETABONESも大活躍ですね。

編集長 うっちーのつぶやき

おかげさまでTF通信も12号達成です。祝1年!!!

なんとか少しでもほっこりと機材の情報を伝えられないかと思って始めたTF通信、個人的にはコツコツは苦手なのですが

なんとか1年続いた事に少し自信がつかました。
何度も心折れそうになりましたが、お客様に配布するときに気を使ってもらって「待ってましたよ」って言ってもらった時が
とても嬉しくてこれまで続けることができました。いつも本当にありがとうございます。

今月のレンズ

Canon 35mm単焦点LシリーズレンズがL II になり新発売!

新開発「BRレンズ」の採用により画質が飛躍的に向上
大口径単焦点レンズ“EF35mm F1.4L II USM”を発売

おもな特長

“EF35mm F1.4L II USM”は、「EF35mm F1.4L USM」(1998年12月発売)の後継機種で、キヤノン独自開発の「BRレンズ」を初めて採用し、大口径レンズに発生しやすい色のにじみ(色収差)を大幅に低減し、撮影画面の中心から周辺まで優れた描写性能を実現しています。

新開発の光学素子「BRレンズ」の採用により色収差を徹底的に抑制

青色(短い波長域)の光を大きく屈折させる異常分散特性を備えたBR光学素子を、凹および凸のガラスレンズで挟み合わせた複合レンズ「BRレンズ」を採用することにより、極めて優れた色収差補正が可能です。これにより、従来は難しかった大口径レンズでの色収差を、より理想的に補正することができます。



EF35mm F1.4L II USM

EF35mm F1.4L II USM

価格	28万5,000円(税別)
発売日	2015年10月中旬

※35mmL II が出ると中古市場に従来の35mmLタイプがよく出るんでしょうね。フフフ

今月の三脚

アメリカ三脚メーカー OCONNORから新商品です。

[2560] 150mmボールヘッド

※SACHTLER製品のCINE30HD相当ですね。

映画、CM業界で人気の[2575]タイプが小型軽量になったモデルです。さっそく日本でも2575所有のレンタル会社は導入されていますね。

STUDIO9+9もNiceな三脚ですが、機会あれば挑戦してみてください。Oconnorヘッドはトルクとカウンターバランスが無段階なのがとてもGoodです。

2560



★C1260-0001

2560Fluid Head Package 定価1,588,000円(税抜き)

★C1260-0002

Ultimate 2560 Fluid Head (ヘッドのみ) 定価1,353,000円(税抜き)



今月のWikipedia

(毎月、うっちーがWikipediaで調べた事をちらっと教えちゃいます。)

低速度撮影

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

移動先: [案内](#)、[検索](#)

開花する [テンジクアオイ](#)属(2時間を短縮)

低速度撮影(ていそくどさつえい)とは**高速度撮影**とは逆に**カメラ**の回転速度を低くして、つまり撮影する**コマ**数を24枚/秒(**ビデオ**の場合には30枚/秒)より少なくして撮影する技法。一般的には**コマ落とし**などと言われている。スピード感ある効果が出るため、**決闘**や**戦闘**のシーン、**追跡**のシーンなどで用いられることがある。事実、**マキノ雅弘**は**戦前**の作品においてこの効果を出すためにコマ落としを好んで使った。シャッタースピードの調整が不十分な低速度撮影の場合、ちょこまかと動く不自然な動きになってしまうが、シャッタースピードを通常の撮影よりも遅く調節すればほぼ通常撮影のときと同等の自然感を出せる。

コマ落としの場合には回転速度はせいぜい半分程度までしか落とさないが、動きの遅いもの少ないものを撮影するために1秒間に1コマ(あるいはそれ以上)という非常に遅いスピードで撮影する技法もあり、これは一般的には**インターバル撮影**や**微速度撮影**などと呼ばれ、コマ落としとは区別されている。インターバル撮影は流れゆく雲とか、花の開花や昆虫の羽化、町の人の流れを高速度で捉える際に用いられる。

なお、古い**映画**においてコマ落としに似たようなちょこまかとした動きになることがあるが、映写速度(再生速度)が誤っているためであり、本来のコマ数で映写すれば違和感のない映写が可能となる。(これは**サイレント**時代には18枚/秒(20枚/秒などのケースもある)で撮影されていたことによるもので、それを現在の**映写機**/映写スピードで映写するとコマ落としのようになってしまいう過ぎない。)

タイムラプス[\[編集\]](#)

静止面をつないで、動画に見せるものを特に「タイムラプス」写真([Time-lapse photography](#))という。例えば、[スカイツリー](#)の工事の様子を定期的に撮って動画にした作品等があり、[動画共有サービス](#)等で公開されている。

発行元

株式会社テクニカルファーム

営業部 担当 内田 拓伸 〒151-0066 東京都渋谷区西原1-28-4興和ビル2階

TEL03-5942-5500 FAX03-3378-1331 Email info@technicalfarm.com web <http://technicalfarm.com>